※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　看護科

教科	看護科	科目	看護演習	単位数	２単位	年次	３年後期
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

医療・看護の基礎知識をふまえてからだの各部について学びます。病気による身体・心に、影響の現れ方などを関連付けて考えていきます。基本的な看護技術や、包帯法の実習も行います。
実習への取り組み態度や実技テスト、実習レポートと小テストなどで評価を行います。

2　学習の到達目標

人体の正常な構造と機能を理解した上で、人体の病的な状態についての知識を身につける。将来医療に携わる者として必要な能力や態度を育み、医療を取り巻く現状を知る。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人体の正常な構造と機能を理解した上で、人体の病的な状態についての知識を習得している。 医療安全にまつわる課題や倫理的課題について現状を理解している。	療養の場の多様化に伴うリスクマネジメント及び多職種と連携・協働や、多様な生活の場にいる人々の看護について、自己学習や研究発表の時間を設けることで、思考し、表現できている。	看護の職業倫理を踏まえて課題を発見し、主体的かつ協働的に解決する力を養う。 将来医療に携わる者として必要な能力や態度の育成を図る。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	人体の構造と機能	1)人体とその構成 2)生体の恒常性とその維持	a:人体の構造と機能について統合的に理解できる b: 健康の定義について理解し、健康状態により他者の援助を受ける必要があることを理解できる c:意欲的に学ぶことが出来たか	筆記テスト	実習レポート、講義レポート	実習、実技テスト
	病気の成り立ち	1)健康と病気				
	看護活動と組織	1)保健医療福祉に携わる人々 2)チーム医療	a:保健・医療・福祉に携わる職種について理解できる b:協働の中で看護師の果たす役割が理解できる			
	医療安全	1)医療事故発生のメカニズム 2)医療安全への取り組み	a:医療事故の原因を理解することができる b:看護師として、患者の安全を守ることの重要性が理解できる			
	災害看護	1)災害看護の意義 2)災害各期の対応と看護 3)災害看護における心のケア	a:災害発生時の看護師の役割を理解できる b:心の健康障害について理解できる c:災害時に使う看護技術を身につけることができる			

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度